

# 仕立てれば違いがわかる 『神戸洋服』

## いい洋服は厳選された生地と細部で決まる

### 特別企画

- 東日本大震災被災者支援プロジェクトも継続
- 神戸ものづくり職人大学卒業生のコーナー設置

兵庫県洋服商工業協同組合、神戸洋服「匠の会」による『2012年秋冬 神戸洋服合同フェスティバル』は、「仕立てれば違いがわかる『神戸洋服』」をテーマに、10月13日（土）、14日（日）神戸クリスタルホール（神戸ハーバーランド）で開催します。前回の展示会に引き続き、神戸に避難している東日本大震災被災者支援プロジェクトとして、神戸洋服オーダースーツで就活応援（10着限定で提供）を継続する。さらに、後継者育成を目的に神戸ものづくり職人大学卒業生のコーナーを設置し、若い感性をオーダースーツに吹き込む。

いい洋服は生地選びから始まり、熟練が手を入れた細部で決まります。仕立てればわかる違い、それが神戸洋服です。会場には2000点以上の服地が展示。そのクオリティはテーラーのために用意された高品質、スーパーファイン・エクストラワールが中心。一流ブランドを一堂に選ぶことができる機会は、展示会において他にないでしょう。仕立ての技術は決して目に見えるものではありません。丁寧に作り込んだ洋服は、着込むほどに愛着が湧き、違いがわかるものです。芯据え、細部の始末に熟練の技を再認識することでしょう。型崩れがしない、永続する風合い、着心地、どれを取っても高く評価される神戸洋服を訴えます。



## 神戸のテーラーは東日本大震災被災者の皆さんを忘れない！

第2弾！東日本大震災被災者支援プロジェクトを継続、実施します。平成7年に阪神淡路大震災を経験し、多くの支援を頂いたことを神戸のテーラーは忘れません。神戸地区に避難・居住している被災者の方々に、オーダースーツをプレゼントをすることで、就職活動、仕事上、スーツが必要とされる人々たちへのエールの気持ちを送ります。限定10着を用意し、18歳から55歳までの神戸市避難者に提供します。新聞広告、ホームページ等でPR。応募者は組合が窓口で受付、展示会当日会場で採寸、後日仕立てて届けます。

\*ただし、オーダースーツは大手縫製工場で作成したものです。

## 若手テーラーが仮縫い、補正を担当

神戸ものづくり職人大学卒業生の技術向上、接客経験の機会を提供し、若手テーラー育成に取り組みます。展示会場に卒業生支援コーナーを設け、仕立て上がり価格に+3万円で卒業生が仮縫い、補正を担当します。基本的に工場縫製によるオーダーは仮縫いは含まれていません。仮縫いを付けることで、出来上がりのイメージが洋服の形で確認でき、要望に応じた補正ができることから、満足度の高い洋服を仕立てることができるようでしょう。

